

平成23年度埼玉県小・中学校学習状況調査【調査結果】 －蓮田市の結果の概要について－

蓮田市教育委員会

本調査によって測定できるのは、学力の特定の一部・一側面であり、全ての学力を表すものではありません。

このことを踏まえ、蓮田市の結果の概要についてお伝えします。

1 調査の概要

- (1) 実施期日 平成23年4月25日(月)
 (2) 対象学年 小学校第5学年 中学校第2学年
 (3) 調査事項

ア ペーパー調査(教科に関する調査)

小学校調査は、国語・社会・算数・理科の4教科

中学校調査は、国語・社会・数学・理科・英語の5教科

出題範囲は、前学年までに学習した内容となっています。

イ 児童・生徒を対象とした質問紙調査

学習状況等に関する調査で21項目となっています。

2 調査結果の概要

(1) ペーパー調査(教科に関する調査)

全体的傾向	<ul style="list-style-type: none"> 23年度調査の本市の結果は、小学校5年生では内容別正答率が16項目中10項目で、埼玉県の平均正答率を上回り、中学校2年生では内容別正答率が15項目中15項目で、埼玉県の平均正答率を上回っている。
-------	---

【小学校第5学年】(平均正答率 単位%)

教科	内容	県	蓮田市
国語	話すこと・聞くこと	95.1	95.7
	書くこと	53.2	51.3
	読むこと	74.6	75.4
	言語事項	75.6	77.3
社会	身近な地域や市町村	78.6	77.2
	地域の人々の生産や販売	80.0	80.1
	飲料水・電気等の確保や廃棄物の処理 災害及び事故から安全を守る	70.8	71.0
		77.4	81.6
	地域の人々の生活	83.7	83.5
	県の様子	67.5	63.9

算数	数と計算	77.0	76.8
	量と測定	74.8	74.7
	図形	72.7	73.9
	数量関係	74.6	75.5
理科	物質とエネルギー	72.6	76.3
	生命・地球	73.4	77.4

【考 察】

教科・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<p>国 語</p> <p>[問題数：22問]</p> <p>□ 県の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率はやや高い。</p>	<p>○ 語句の意味を正しく理解している。</p> <p>○ 学習した漢字を正しく読むことができる。</p> <p>○ 一文を接続語を使って二文に分けて書くことができる。</p>	<p>● 叙述を基に場面の様子を想像しながら読むことができる。</p> <p>● 文章全体を見通して書く必要のある事柄を選ぶことができる。</p> <p>● 文の構成（主語・述語）について理解している。</p>
<p>社 会</p> <p>[問題数：20問]</p> <p>□ 県の平均正答率と蓮田市の平均正答率は同程度である。</p>	<p>○ 荒川の位置について理解している。</p> <p>○ 新聞の記述から電気使用量の増加を示す資料を選択することができる。</p> <p>○ 火事に備える体制を選択することができる。</p>	<p>● 方位の意味と地図作成の基本的な方法を理解している。</p> <p>● 縮尺の意味を理解している。</p> <p>● 2つの市の地理的位置関係を八方位で表すことができる。</p>
<p>算 数</p> <p>[問題数：30問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率はやや高い。</p>	<p>○ 面積の単位に適した大きさで表すことができる。</p> <p>○ 伴って変わる二つの数量について、それらの関係を表に表すことができる。</p> <p>○ ひし形を作図することができる。</p>	<p>● 小数の減法の計算ができる。</p> <p>● 分数の意味を理解している。</p> <p>● 式に表された計算の工夫が分かる。</p>
<p>理 科</p> <p>[問題数：21問]</p> <p>□ 県の平均正答率</p>	<p>○ 昆虫の体のつくりを理解し、説明できる。</p> <p>○ 植物の生長の仕方と季節のかかわりについて指摘できる。</p>	<p>● 関節を動かす骨と筋肉の動きを理解している。</p> <p>● 水、空気は温めると体積が膨張すること、空気の温度による体積変化が</p>

に比べ、蓮田市の平均正答率は高い。	○ 伸ばされたゴムの元に戻ろうとする力の強さとももの動く様子を関係づけられる。	最も大きいことを理解している。
-------------------	---	-----------------

【中学校第2学年】（平均正答率 単位％）

教科	内容	県	蓮田市
国語	話すこと・聞くこと	82.7	83.6
	書くこと	64.6	69.0
	読むこと	65.8	70.2
	言語事項	79.4	79.9
社会	地理的分野	63.2	67.6
	歴史的分野	64.6	69.3
数学	数と式	73.7	76.1
	図形	49.6	52.8
	数量関係	70.7	72.4
	資料の活用	51.3	58.1
理科	第1分野	44.0	45.9
	第2分野	53.7	56.3
英語	聞くこと	70.7	70.8
	読むこと	65.8	68.6
	書くこと	44.9	53.5

【考 察】

教科・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<p>国 語</p> <p>[問題数：21問]</p> <p>□ 県の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は高い。</p>	<p>○ 文章の構成を工夫し、自分の考えをわかりやすく記述できる。</p> <p>○ 登場人物の描写に注意して読み、内容を理解することができる。</p> <p>○ 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに改めることができる。</p>	<p>● 文章の展開を確かめながら要旨を、とらえることができる。</p> <p>● 文や文章の中で、漢字を正しく読むことができる。</p> <p>● 文脈の中で慣用句を正しく使うことができる。</p>

<p style="text-align: center;">社 会</p> <p>[問題数：19問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率が高い。</p>	<p>○ 州や大陸、北半球と南半球、三大洋や主な国々の位置をとらえることができる。</p> <p>○ 統計資料から日本の工業の特徴を読み取ることができる。</p> <p>○ 中世社会の政治は武士が中心であることを資料を見て考え、表現することができる。</p>	<p>● 地球上の位置を緯度・経度で表すことができる。</p> <p>● 大陸と海洋の分布をとらえることができる。</p> <p>● 2つの地図から、アメリカの気候の特色を読み取ることができる。</p>
<p style="text-align: center;">数 学</p> <p>[問題数：25問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率が高い。</p>	<p>○ 正の数、負の数の四則計算ができる。</p> <p>○ 反比例の関係を表すグラフについて理解している。</p> <p>○ 三角形の底辺と高さの関係を理解し、垂線を作図することができる。</p>	<p>● 比例式を解くことができる。</p> <p>● おうぎ形の面積を求めることができる。</p> <p>● 表から式を求めることができる。</p>
<p style="text-align: center;">理 科</p> <p>[問題数：21問]</p> <p>□ 県の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率が高い。</p>	<p>○ 葉から気体が入り出す部分を気孔ということを理解している。</p> <p>○ れき岩、砂岩、泥岩の粒の大きさの違いを理解している。</p> <p>○ ビーカー内で溶かしたロウが自然に固まったときの形を理解している。</p>	<p>● 実験結果と光合成のはたらきを関連づけてとらえることができる。</p> <p>● 屈折が上下左右あらゆる方向に対して行われることを指摘できる。</p> <p>● 物質の融点・沸点は、物質の量によって変わらないことを指摘できる。</p>
<p style="text-align: center;">英 語</p> <p>[問題数：27問]</p> <p>□ 県の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率が高い。</p>	<p>○ 否定の命令文を聞いて、それに適する応答分を選ぶことができる。</p> <p>○ 対話分を読んで、その内容を表す絵を選ぶことができる。</p> <p>○ 疑問詞で始まる疑問文を正しい語順で書くことができる。</p>	<p>● 基本的な慣用表現を聞いて、それに適する応答分を選ぶことができる。</p> <p>● スピーチを聞いて、指示された場所に住む人物を選ぶことができる。</p> <p>● 対話の流れを理解し、流れに合うように慣用表現を使うことができる。</p>

(2) 児童・生徒質問紙調査 (県平均と比較して ○良好 △課題)

<p>小学校5年生 全体的傾向</p>	<p>○ほとんどの項目で、県と比べて、良好な結果となっております。 ○よい学習環境の中で、意欲的に生活していることが伺えます。</p>
<p>具体的傾向 県平均と比較して ○良好 △努力したいこと</p>	<p>○毎朝きちんと朝食をとっています。 ○近所の人へあいさつができています。 ○友だちとの約束が守れています。 ○学校のきまりが守られています。 △みんなの前で意見をはっきり言うことを苦手にしていません。 △「勉強が好きだ」については、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を併せても、6割程度の結果となっております。</p>
<p>中学校2年生 全体的傾向</p>	<p>○ほとんどの項目で、県と比べて、同程度の結果となっております。 ○概ねよい学習環境の中で、生活していることが伺えます。</p>
<p>具体的傾向 県平均と比較して ○良好 △努力したいこと</p>	<p>○毎朝きちんと朝食をとっています。 ○学校に持っていくものを、前日かその日の朝に確かめています。 ○「勉強は大切だ」については、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を併せても、9割以上の結果となっております。 △県平均を超えるものの「勉強が好きだ」については、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を併せても、4割程度の結果となっております。</p>

3 今後の予定

<p>市教育委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各学校に課題分析表を作成させ、課題解決の具体的な方策を立てさせて、実践・評価を行います。それに対して適宜、指導・助言を行います。 ○各学校が基礎基本の習得や思考力・判断力・表現力等を育成する学習指導の時間が確保できるように教育課程の見直し改善を行います。 ○学校課題に沿った PTA、学校応援団、放課後子ども教室などの活動を実施し、学校の教育活動を支援します。
<p>各小・中学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自校の調査結果を分析・考察し、学校の教育活動や学習指導の改善に役立てる資料として活用します。 ○「わかる授業」を実践するために、研修を通して、学習指導法の工夫・改善を行います。学習規律の徹底も図り、どの子ども達成感が味わえる授業を推進します。 ○学校公開や保護者会、学校だより等を活用し、望ましい生活習慣や学習習慣の定着、地域の行事への参加等について、働きかけ、三者の連携による教育を推進します。
<p>家庭・地域社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭での過ごし方は、学力向上に大きな影響があることを理解し、子どもの生活習慣を見直し、改善点があれば家庭で、じっくりと話し合うことが重要です。 ○家庭学習を充実させるために、子どもの学習面でのつまずきを把握し、学校と共に家庭学習の習慣化を図ることが大切だと考えます。 ○子どもの躰は家庭で行うことが根本です。「早寝・早起き・朝ご飯」の実践、あいさつ、返事等の基本的な生活習慣、社会生活のルールやマナーを家庭や地域で、責任を持って教えることが求められています。